

対カンボジア無償資金協力 洪水対策支援計画の起工式開催

5月21日（火）にコンポンチュナン州の工事区域にて、及び5月23日（木）にはプレイベン州の工事区域にて、我が国の無償資金協力により実施される洪水対策支援計画の起工式が開催されました。

カンボジアでは、2011年9月から10月の集中豪雨により各地で洪水が発生し、家屋の損壊、農地の水没等の結果、死者250人超、被災者約150万人が発生したほか、国全体の稲作地の約17%が被害を受けるなどの被害が発生しました。これに対し、我が国は2,500万円相当の緊急援助物資（浄水器、ポリタンク等）供与等の緊急支援を実施しましたが、甚大な被害からの復旧・復興のためには、更にインフラの改修が必要です。本件は、洪水被害からの復旧と防災のため、コンポンチュナン市内の国道5号線及び市内道路と道路に付随する排水路の改修、国道11号線における8橋梁の建設（6橋の架け替え及び2つの排水口の橋梁への変更）を実施するものです。

コンポンチュナン市内道路の改修においては、道路排水施設の設置により雨水排水能力が増加し、洪水被害が回避されるとともに、道路維持管理費用の低減が期待されます。また道路への安全施設等の設置により、車輛及び歩行者通行の安全性・快適性が確保されます。

国道11号線の橋梁改修においては、川の流れを一部妨げている仮橋、老朽橋を永久橋に架け替えることで、荷重制限の撤廃、河川の水位の低下、洪水発生時における幹線輸送ルート確保等が期待されます。

【コンポンチュナン市内】

国道5号線の市街地区間及び、国道に接続する主要街路を対象に、舗装の改修を行う。また、改修部分の道路排水施設と流末までの排水路を設置する。

- 赤線
国道5号線改修部分
2.2km
- 緑線
主要街路改修部分
2.4km
- 青線
排水路設置部分
2.6km

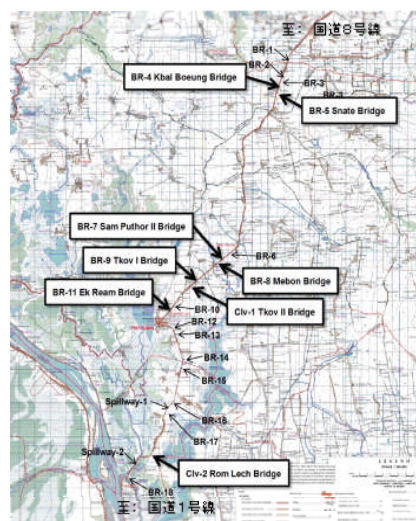


【国道11号線】

国道11号線における橋梁8橋を改修し、旧構造物による洪水の滞留解消、洪水発生時の幹線輸送ルート確保、橋梁上の荷重制限を撤廃する。

作業内容

- BR-4 架け替え
- BR-5 架け替え
- BR-7 架け替え
- BR-8 架け替え
- BR-9 架け替え
- CLV-1 構造変更
- BR-11 架け替え
- CLV-2 構造変更



5月21日(火)のコンポンチュナン州における式典には、カンボジア政府からコン・サム・オール副首相、トラム・イム・テック公共事業運輸大臣が、日本大使館からは隈丸大使がそれぞれ出席して祝辞を述べ、地域住民を含め3000人以上が参列しました。

式典では、トラム・イム・テック公共事業運輸大臣より祝辞と事業概要が述べられました。続いて隈丸大使は、「本件の実施によって、コンポンチュナン州の人々や、南部経済回廊を構成する国道5号線沿線が、益々発展することを期待する。」と述べました。最後にコン・サム・オール副首相より、日本国民に対する感謝の意が述べられました。

その後、コン・サム・オール副首相と隈丸大使が、施工看板の序幕を行い、式典は終了しました。



入場する大使（左）と副首相（右）



大使によるスピーチ



序幕された施工看板



序幕

続いて5月23日（木）のプレイベン州における式典には、カンボジア政府からソー・ケン副首相、トラム・イム・テック公共事業運輸大臣が、また、日本大使館からは隈丸大使がそれぞれ出席して祝辞を述べ、地域住民を含め3000人以上が参列しました。

式典では、冒頭、トラム・イム・テック公共事業運輸大臣より祝辞と事業概要が述べられました。続いて隈丸大使は、「本件の実施によって、プレイベン州の人々や周辺の世界経済活動の益々の発展を期待する。」と述べました。最後にソー・ケン副首相より、日本国民に対する感謝の意が述べられました。

その後、ソー・ケン副首相と隈丸大使が、杭打ち機械のスイッチを押し、大地に杭が打ち込まれるのを確認し、式典は終了しました。



参加者の状況



杭打ち機のスイッチを押し大使（左）と副首相（右）



起動する杭打ち機